

高校生 ICT 2015 Conference

in 長野

言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！

～ 高校生のボクたちだから ～

開催報告書

第一回 2015年9月5日（土）13:30-17:00

【会場】松本市駅前会館

主催

長野県教育委員会

高校生 ICT Conference 実行委員会

共催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省

| | |
|---|---|
| 1. 開催概要 | 1 |
| 2. 高校生 ICT Conference 2015 地域開催 | 3 |
| 3. 高校生 ICT Conference 2015 in 長野 開催概要 | 4 |
| 4. 主担当 | 8 |
| 5. 高校生 ICT Conference 2015 サミット | 9 |
| 6. 高校生 ICT Conference 最終報告会 | 9 |
| 7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応 | 9 |

1. 開催概要

| | |
|-------|---|
| 名称： | <p>高校生 ICT Conference 2015</p> <p>テーマ</p> <p>言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！</p> <p>～ 高校生のボクたちだから ～</p> <p>第1部「大人のルール&マナー」</p> <p>第2部「大人が作った子どものルール&マナーを考える」</p> |
| 主催： | <ul style="list-style-type: none"> ● 高校生 ICT Conference 実行委員会 （構成：安心ネットづくり促進協議会、大阪私学教育情報化研究会、一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構、一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会） ● 長野教育委員会（長野のみ） ● 福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会（福岡のみ） ● 特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム（神奈川のみ） |
| 共催： | 内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、大分県教育委員会、大分県高等学校 PTA 連合会、帝塚山大学（奈良のみ）、神奈川県教育委員会（神奈川のみ） |
| 後援： | 一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、全国高等学校情報教育研究会、北海道、北海道教育委員会、北海道高等学校 PTA 連合会、北海道青少年有害情報対策実行委員会、大阪府高等学校情報教育研究会、東京都高等学校情報教育研究会、奈良県、奈良県情報教育研究会、奈良県教育委員会、福岡県公立高等学校長協会、福岡県私学協会、福岡県公立高等学校 PTA 連合会、石川県、石川県教育委員会、石川県高等学校長協会、石川県高等学校 PTA 連合会、いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会、北陸携帯電話販売店協会 |
| 協賛： | 株式会社サイバーエージェント、グーグル株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー、グリー株式会社、LINE 株式会社、株式会社ラック、株式会社メディア開発綜研 |
| 協力： | アルプス システム インテグレーション株式会社、株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、一般社団法人情報教育研究所、デジタルアーツ株式会社、株式会社ミクシィ（順不同） |
| 開催目的： | <p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加し、2013 年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに加えて 5 拠点にて開催し、計 51 校 267 人の高校生が参加しました。2014 度も同 5 拠点にて開催し、計 44 校 221 人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめ</p> |

| | |
|------------|---|
| | <p>る、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>2015年度は、より全国的な規模での展開に向けて開催地域を拡大、新たに石川、長野、神奈川、福岡を加え開催します。</p> <p>さらに当事者たる高校生の意見を中央に届けるべく、各地域の代表者はサミットにより提言をまとめ、内閣府、総務省、文部科学省で発表を予定しています。</p> <p>※平成21年4月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成23年度の小学校を皮切りに、平成24年は中学校、平成25年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しいICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全にICTを利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p> |
| 開催の概要： | <p>【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>・第一部 「大人のルール&マナー」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議イントロダクション (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評</p> <p>・第二部 「大人が作った子どものルール&マナーを考える」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議 (4) グループ発表 (4) 総評 (5) サミット参加者発表</p> <p>【サミット】「言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！ ～ 高校生のボクたちだから ～」 (1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】 内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」 総務省、文部科学省、経済産業省にて成果・提言報告及び意見交換</p> |
| 各開催地募集人員等： | 募集参加生徒 30名 募集見学者各回 30名（各開催地により変動あり） |
| 参加・参観方法： | 参加費・参観無料 [要事前登録] |

| | |
|--|---|
| 高校生 ICT Conference 2015 実行委 員会： | 【委員長】 <ul style="list-style-type: none"> 米田 謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） 【コアメンバー】 <ul style="list-style-type: none"> 齋藤 長行（青山学院大学 株式会社 KDDI 研究所） 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所） 石田 幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会代表・消費者団体訴訟室長） 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） 小城 英子（聖心女子大学） 他、関係者団体、事業者等 【事務局】 安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 齋藤ビル 2 階 TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180 |
|--|---|

2. 高校生 ICT Conference 2015 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生が 2 つのテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

| | 地域 | 第 1 回 | 第 2 回 | 会場 |
|-------|-----|-----------------------------|---------------------|------------------------|
| 地域開催 | 北海道 | 2015 年 9 月 27 日（日） | 2015 年 10 月 18 日（日） | 札幌ユビキタス協創広場 U-cala |
| | 石川 | 2015 年 9 月 13 日（日） | — | 金沢商工会議所 |
| | 長野 | 2015 年 9 月 5 日（土） | 2015 年 10 月 3 日（土） | 松本市駅前会館 |
| | 東京 | 2015 年 10 月 11 日（日） | — | 東京ユビキタス協創広場 CANVAS |
| | 神奈川 | 2015 年 10 月 4 日（日） | — | 岩崎学園 |
| | 大阪 | 2015 年 7 月 25 日（土） | 2015 年 9 月 20 日（日） | ① 内田洋行 ②大阪私学会館 |
| | 奈良 | 2015 年 7 月 26 日（日） | — | 帝塚山大学 東生駒キャンパス |
| | 福岡 | 2015 年 9 月 12 日（土） | — | ガスホール |
| | 大分 | 2015 年 8 月 29 日（土） | — | アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ |
| サミット | | 2015 年 11 月 3 日 13:30～17:00 | | 東京ユビキタス協創広場 CANVAS |
| 最終報告会 | | 2015 年 12 月中旬頃 | | |

3. 高校生 ICT Conference 2015 in 長野（第一回） 開催概要

| | |
|----|--|
| 概要 | <p>高校生、教員、企業関係者など 43 名の参加者を得て、「大人のルール&マナーから考える」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【リアル熟議】 主旨説明 長野県教育委員会 心の支援課 平林 洋一 様 高校生 ICT カンファレンスの意義や目的とあわせて本日の流れも紹介しました。</p> <p>開会の挨拶 長野県教育委員会教育長 伊藤 学司 様 高校生 ICT カンファレンス長野大会への期待や高校生熟議の意義・大会後の取組についてお話をいただきました。</p> <p>文部科学省スポーツ・青少年局参事官（青少年健全育成担当）付青少年有害環境対策専門官 八木澤 寛 様 高校生 ICT Conference の意義及び文部科学省の役割についてもあわせて紹介いただきました。</p> <p>第一部 事業者による講演 『インターネットを過去と未来から考える』 ソフトバンク株式会社 CSR室 田島 泉 様 これまでのインターネットの発展を振り返りながら、同時にトラブルもさまざまに変化し、国や民間でその対策と啓発が行われてきました。 次代を担う高校生の皆さんが、これまでの人々の経験に学び、インターネットをよりよく活用していくことをお話しいただきました。 また、クラウドにつながる進化の象徴として、感情認識パーソナルロボット「Pepper」のお話もありました。</p> <p>『アカウントについて考える』 株式会社サイバーエージェント メディアサポート室 中村 広毅 様 アカウントの用語説明から始まり、企業、サービスがアカウントを用いて何を管理しているのか、アカウントの不正ログインの事例、アカウント情報を教えてしまうリスクに関して講演してくださいました。</p> <p>各プレゼンの内容をしっかり参加生徒はメモをとりながら次の熟議に備えていました。各プレゼンの内容も 現在の問題点、今後の課題、これからの活用方法、企業の立場からの提案など いろいろなアイデアが盛り込まれていて教員にも大変有意義なものでした。</p> |
|----|--|

第二部：熟議「大人のルール&マナーから考える」

まず、今回のテーマについてのイントロダクションとして、ルールとマナーについて、どのような視点で進めていくかを説明し、参加校紹介を行いました。その後グループ分けして4つのグループに分かれ熟議を進めました

第三部：グループ発表

各グループ3分程度の発表を行い、それぞれの発表に対して講評をいただきました。

<チームA：グループ村>

- ・大人と高校生は変わらない。子供は大人を見て育つので、大人が正しい道を歩むことが必要
- ・フィルタリングの技術や法律ではなく、教育による根本的な部分を浸透させることが必要

◇講評：伊藤 学司 様（長野県教育委員会 教育長）

ルール、マナーとなると子どものことばかりクローズアップされがちだが、大人こそ免疫がないうちから携帯電話を使い始めている。ルールを作っても大人が守らないのでは意味がないので、家庭内のルールは、親も一緒に守れるようなルール、もしくは大人と子どもで差をつけたルールを作り、大人も子どもも守ることが必要。

<チームB：あかさまみ>

- ・大人・・・電車内で優先席に座ってスマホ操作、マナーモードに設定していない。
 - ・子供・・・学校内で授業中に携帯電話を利用、1日の使用時間が長い
- マナー破りが人間関係を悪化させて、犯罪が起こる
- ・犯罪を防ぐには、家庭内でルールを作り、ネットの使い方を再確認するなど、知識を得る場を大人が作る必要がある。

◇講評：八木澤 寛 様（文部科学省スポーツ・青少年局参事官（青少年健全育成担当）付青少年有害環境対策専門官）

現状や課題に対する解決策がうまくまとめられている。解決策はもっと独特なアイデアが欲しかった。先輩が後輩に教えるなどの取り組みがあると面白いかもしれない。

<チームC：平均2年生>

- ・大人は、携帯電話を常に携帯してほしい。2台持ちは正しいのか？を考え直してほしい。
 - ・スマホに依存しない生活が重要、携帯を介さずに直接コミュニケーションをとるべき。
- ↓
- ・高校生も大人もネットについて勉強したうえでルールを見直すべき

- ・得た学びの発信をしていきたい

◇講評：原 良通 様（長野県教育委員会 事務局 心の支援課）

大人は携帯を携帯していないというのは、その通り。デジタルの処理では誤解が生じるので直接コミュニケーションをとることが大人も子どもも必要。今回の学びを発信して行って欲しい。

<チームD：現実主義>

規則を守らないので、問題が発生する。規則を正しく守って、利用すれば、犯罪・事件に巻き込まれることが減少する。

<対策>

- ・携帯依存させないために、依存後の悪影響をCMや広告でアピールする
- ・国が報酬を与える。ポイント制にして買い物ができるようにする（例：ゲーム依存しないために18歳未満だけの限定報酬を付ける。など）
- ・個人情報を載せないために、18歳未満の画像アップロード、SNSのタグ/ハッシュタグ禁止、利用制限の簡略化する

◇講評：ソフトバンク株式会社 CSR室 石原 友信 様

携帯を使いこなしている皆さんだからこそ、よく分析できており、第1回目ながら提言までありがとうございます。企業としても努力すべきという提言もありがとうございます。

ひとつ質問があります。皆さんの使い方として、ネット上で知らない人同士で会話したりするが、今回のカンファレンスで知らない人同士がリアルで出会って話した感想を教えてください。

- ・実際に会った方が目と目で会話できる心のキャッチボールができる。会って話すと感情や想いが顔を見て分かる。
- ・ネット上で共通の趣味がある子と出会う機会はあるが、今回のように学校・学年が違う人たちと討論できるのは、直接会うことのメリットでLINEのような文章のやりとりでは、できない。今足りていないコミュニケーション能力が養われていくので、直接会って話すことが大切。
- ・ネット上での会話だと本当にそう想っている？私には関係ないかも・・・など不信感を抱くことがあるが、同じ世代の人と話すことで同じ意見を持っていることが身近に感じることができる。
- ・ネット上の文章のやりとりで返答がすぐに返ってこないが、直接会って話すとすぐに返答が返ってくるので、会話が広がる。

全体講評 茨城県メディア教育指導員連絡会 堤 千賀子 様

以下コメントをいただきました。

「長い熟議、本当にご苦労様でした。最後のグループ発表にあった「今日楽しかったよ」が4グループ全ての感想だと思いたいです。顔を見て話すことってすごくエネルギーが必要だが、楽しいというのを今日感じてもらったのでは？」

| | |
|-------|---|
| | <p>私は、茨城のPTAの会長をやり、8年前からPTA ネットの啓発活動を始めて、5年前からは、このICTカンファレンス（熟議）に携わっています。第1回の長野大会で長野の高校生が何を考えているのかをお聞きできることは楽しみでした。</p> <p>今日のテーマは、大人のルール・マナーを見直そうでしたが、いつのまにか自分たちの生活を振り返っていたのではないのでしょうか？熟議の中で面白いと思ったのは、「いつもつながっていたいからスマホを持っている。」という共通認識があるということ。いつもつながっていることの良し悪しは分からないけど、つながっていなければいけない状況の中にいることを皆が意識している。</p> <p>「ネットだけではなくて、リアルなコミュニケーションが必要」とみんなが気付けたのは、素晴らしいです。このリアルを日常でも感じて欲しい。</p> <p>携帯依存、やりすぎについては、自分だけは大丈夫と言っている人がいた。これまでの研修の中で自分の子どもだけは大丈夫と思っている大人に沢山出会いました。今日も、自分は大丈夫だと思っているけど、使いすぎてしまっていることに気付いている子がいました。</p> <p>いつもつながっていることはどうなのか？立ち止まって考えていました。全てを知りあっている必要があるのか？ネットで全ては伝わらない。そのことに気付いていたことが素晴らしかったです。</p> <p>心でつながりたいときはネットが全てではありません。</p> <p>茨城（水戸）の葵陵高等学校の生徒会の子がICTカンファレンス後に作成した冊子について紹介させてください。</p> <p>「これまでに生徒のソーシャルメディアの利用について先生から繰り返し指導を受けてきた。先生から注意を受けるのではなく、生徒同士で問題を指摘し合うことが解決することがトラブル回避への近道になるのではと考えました」冊子の中で思いやルールが掲載されています。</p> <p>ICTカンファレンスで出会った皆さんの次のステップとしてこんな素晴らしいことをやっている生徒がいることを知ってほしいと思い、紹介させていただきました。表紙にあるGREE、twitterのロゴは全て、生徒が会社に電話をして著作権を貸してくださいと許可をもらったものです。</p> <p>今日の気付きが第2回長野大会につながり、大人と君たちが次のIT社会を作るためにいいルールが作れるように期待しています。第2回までの間もコミュニケーションをとりあって、より深い議論をしてほしいと思います。</p> <p>今日はありがとうございました。」</p> |
| 参加校： | 長野県松本県ヶ丘高等学校、長野県茅野高等学校、長野県伊那北高等学校 長野県東御清翔高等学校、長野県明科高等学校 |
| 日 時： | 2015年9月5日（土）13:30-17:00 |
| 場 所： | 松本市駅前会館 松本市深志2丁目3番21号 |
| 参加人数： | 熟議参加生徒 17人 見学者・関係者 26人（教員・教育関係者・その他） |

| | |
|---------|---|
| | 合計：43人 |
| 熟議グループ： | <p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略)</p> <p>【チームA：グループ村】人数4人</p> <p>茅野高校 3年 男 伊那北高校 2年 女 松本県ヶ丘高校 2年 男 松本県ヶ丘高校 2年 女</p> <p>〔ファシリテーター〕 召田誠（長野県明科高等学校教諭）</p> <p>【チームB：あかさまみ】人数4人</p> <p>明科高校 3年 男 伊那北高校 2年 女 松本県ヶ丘高校 2年 女 松本県ヶ丘高校 2年 女</p> <p>〔ファシリテーター〕 村山美耶子（長野県篠ノ井高校犀峽校教諭）</p> <p>【チームC：平均2年生】人数5人</p> <p>明科高校 3年 男 伊那北高校 2年 女 松本県ヶ丘高校 2年 男 松本県ヶ丘高校 2年 女 東御清翔高校 1年 女</p> <p>〔ファシリテーター〕 高杵博之（総務省信越総合通信局）</p> <p>【チームD：現実主義】人数4人</p> <p>明科高校 3年 女 茅野高校 3年 男 松本県ヶ丘高校 2年 女 松本県ヶ丘高校 2年 女</p> <p>〔ファシリテーター〕 中村広毅（株式会社サイバーエージェント）</p> |

4. 主担当

| | | |
|---------------|------------|---------------------|
| 長野教育委員会 | 平林、中沢 他 | 司会、ファシリテーター手配、庶務、受付 |
| 安心ネットづくり促進協議会 | 吉村 他 | 事務局、庶務 |

| | | |
|--------------------------|-------|----------------------------|
| ソフトバンク株式会社 | 石原、田島 | 事務局、庶務 |
| 草の根サイバーセキュリティ運動 全国連絡会 | 吉岡 | 庶務、受付 |
| 各地協力団体、事業者、大学等 | | 講演、ノベルティ、ファシリテーター、記録（撮影）、他 |

(開催後の予定)

5. 高校生 ICT Conference 2015 サミット

高校生 ICT Conference 2015 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

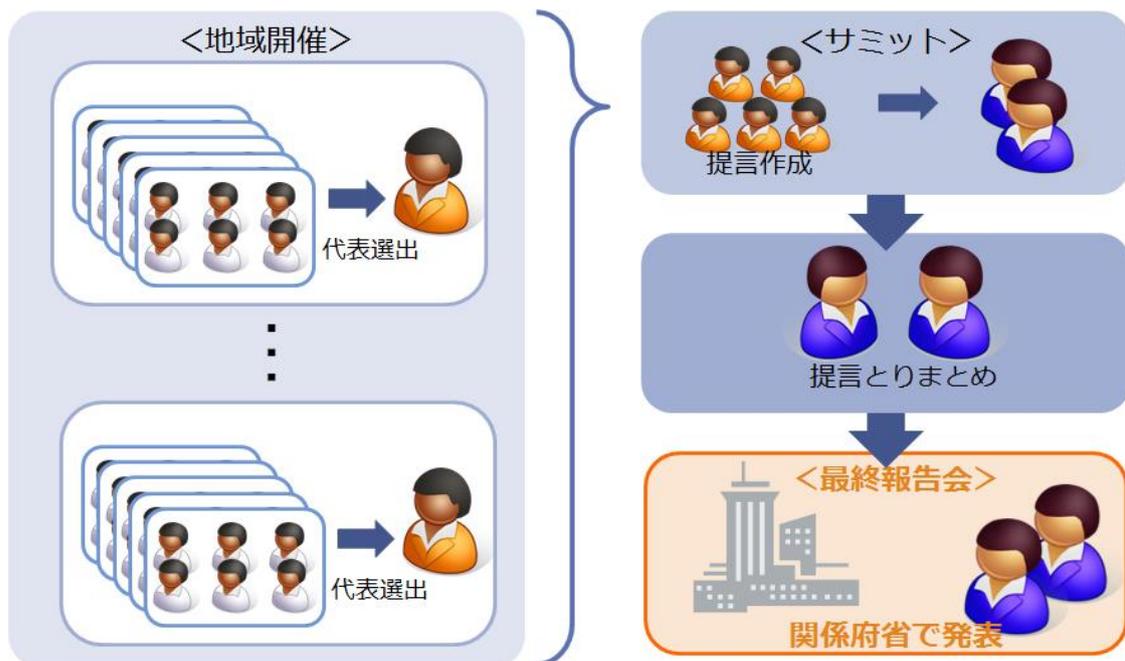
- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 終了後、各校の引率教職員と参加校代表生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表 2 名を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2015 サミットで検討された提言を、選出された代表者 2 名が報告用にとりまとめを行い、関係府省にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを語る。

【報告先予定府省】

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省



7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表の画面の撮影 (又は画像保存)

- 2) Conference 終了後、発表の画像と併せて高校生 ICT Conference 2015 のサイトにアップデート
- 3) 終了後、講評と併せて、各会場責任者にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2015 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 5) 高校生 ICT Conference 2015 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 6) 最終報告会での発表